

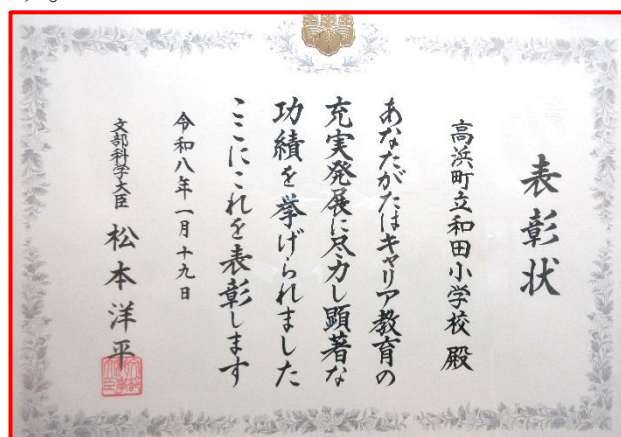


## 厳しい寒さに負けず…

「冬来たりなば春遠からじ」。この言葉の通り、先週から大雪に見舞われ、本格的な冬の厳しさを感じる日々が続いています。グラウンドは一面雪に覆われ、吐く息が白くなる朝の登校風景からは、自然の厳しさとともに、季節の移ろいを改めて実感させられます。そのような中にあっても、子どもたちは寒さに負けることなく、毎日元気に学校生活を送っています。

さて、1月に入り学校では2月7日に実施予定の「なわとび記録会」に向けて、体育の授業だけではなく、業間などの休み時間にも練習に励んでいます。学級や縦割班での大縄跳び、そして、一人一人が挑戦する持久跳び。どの種目においても、子どもたちの表情は真剣そのものです。「大縄跳び」では、タイミングが合わず何度も失敗することもあります、そのたびに「大丈夫」と声を掛け合う姿が見られます。まさに「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という学習活動になっています。個人で取り組む「持久跳び」は、自分への挑戦です。息が苦しくなっても、手や足が重く感じ

られるようになって、最後まで跳び続けようとする姿が見られます。「継続は力なり」と言われるように、日々の積み重ねが少しずつ自信となり、子どもたちの心と体を確実に強くしています。記録会は結果だけが目的ではありません。努力する過程を大切に、仲間と励まし合いながら挑戦する経験こそが、子どもたちにとっては大切なことであると思います。



また、大変うれしい知らせが続いています。先日のキャリア教育における文部科学大臣表彰に続き、福井県教育委員会の「ふるさと学びの特別賞 優秀賞」を2年連続で受賞することとなりました。これらの受賞は、総合的な学習の時間や生活科の学習において、地域の方々と協働しながら探究的な学びを続けてきた成果が高く評価されたものです。

子どもたちは、地域の自然や産業、人々の暮らしに直接触れながら、「なぜだろう」「どうしてだろう」と問いをもち、自分たちの考えを深めてきました。話を聞くだけではなく、体験し、調べ、考え、発信する学びは、「百聞は一見に如かず」という言葉そのものです。こうした学びを通して、子どもたちはふるさと和田の



色別 大縄練習



6年 コドモノ明日研究所

よさに気づき、誇りをもちながら、同時に課題にも目を向け、「自分たちに何ができるのか」を考える力を育んでいます。このような学びが実現しているのは、地域の皆様の温かいご支援があってこそです。忙しい中でも子どもたちの学びに寄り添い、支えてくださる地域の方々の存在は、和田小学校の大きな力です。「人は人に支えられて育つ」という言葉を、子どもたちは日々の学習の中で実感しています。この場を借りて、改めて心より感謝申し上げます。

一方で、今週は全国学校給食週間です。学校給食の意義や役割について理解を深めるため、毎年1月に実施されています。学校給食は、戦後の食糧難の中で子どもたちの健康を守るために始まり、昭和29年に現在の形の学校給食が再開されました。この歴史を受け、食べることの大切さや、食材を育てる人・作る人への感謝の心を育むことが、学校給食の大きな役割です。毎日当たり前のように食べている給食ですが、その一食一食には、多くの人の思いと努力が込められています。「当たり前と思った瞬間、感謝は消える」と言われますが、この機会に、「食べられること」「支えてくれる人たちがいること」への感謝の気持ちを大切にすると共に、望ましい食習慣を育んでいきたいと思います。

今後も、和田小学校では、子どもたち一人一人が自分のよさを伸ばし、仲間とともに学び合いながら成長できる学校づくりを進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



5年 給食

## 2月の主な行事予定

- 3日（火）二重跳びコンテスト
- 4日（水）新1年生体験入学  
ペア学年なわとび記録会①
- 5日（木）15時集団下校  
ペア学年なわとび記録会②
- 7日（土）授業参観・なわとび記録会  
家庭・地域・学校協議会  
ふるさと学びのフェア  
(福井県立大学)
- 9日（月）振替
- 10日（火）**3年** 校外学習（高浜交番）
- 11日（水）建国記念の日
- 12日（木）クラブ活動（最終回）
- 17日（火）不審者対応訓練  
研究会のため  
13時40分 集団下校
- 19日（木）**6年** 商品発表会  
(和田公民館)  
15時集団下校
- 23日（月）天皇誕生日
- 25日（水）校内漢字テスト
- 26日（木）委員会（最終回）

毎週月・水曜日 15:00 集団下校